

のびやか



48号



第10回 青い鳥夏まつり



夏まつりでおなじみの「すまいる音楽隊 一生懸命」は、正面玄関でフィナーレを飾りました。



オープニングは、中小田井火消し太鼓保存会の皆さんに飾っていただきました。



どんぐり園の子どもたちは、熱い中、保護者の方や保育士と一緒に店員さんとして頑張りました。



作品の展示、交流の様子を写真で紹介し、作者である利用者さんも展示部屋でお客さんをお迎えし、地域の方と交流しました。



平成22年8月22日（日）、第10回青い鳥夏まつりを行いました。今年度は、例年の模擬店・イベントに加え、通園部どんぐり園の子どもたちによる「どんぐりのお店」や、昨年度、重心棟利用者さんの交流を目的に行った「合同作品展示」の紹介を行いました。また、イベントとして、普段療育活動で行っている「エアートランポリン」を行い、地域の子どもたちや障がいを持った方にも体験していただきました。

目次：	
装具業者さんより ワンポイントアドバイス	2～3
読書コーナー	3
地域の事業所の紹介	4～5
青い鳥夏まつり	6～7
入所コーナー	7
掲示板	8



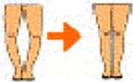
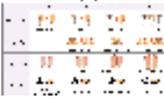
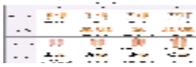
◆◇装具業者さんよりワンポイントアドバイス◇◆

子どもの足の発達

(有) アルテックブレース 島崎 豊和 氏
佐々木 浩一 氏

足の状態も歩き方も成長によってどんどん変わっていく子どもたち

足の状態も歩き方も成長によってどんどん変わっていく子どもたち。もちろん足の幅や形もそれに合わせて変わっていきますので、成長に合わせた靴選びが大切です。

	0～1歳	1～3歳	4～6歳	7歳以降
X脚・O脚・P脚	 O脚からP脚へ	 X脚へ	 X脚からP脚へ	 それぞれの脚の形へ
かかとの傾き		 内側へ傾いてゆく	 内側に傾いている	 まっすぐになってゆく
土踏まずの形成	 未形成	 未形成	 土踏まずができてくる	 土踏まずの形成終了
足根骨の骨化	 踵骨・距骨(胎児)・ 立方骨・第三楔状骨	 第一楔上骨	 第二楔状骨舟状骨	 踵骨の骨端核

1～3歳：足裏全体で着地しやすい、かかとの安定しやすい靴。素材がやわらかく、足の負担にならない靴。

3～7歳：はだし感覚で足指が使いやすく、屈曲性が良い靴。

7～10歳：クッション性がよく、アーチサポートのある靴。

また、子どもの足の成長は早く、特に3歳くらいまでは非常に早くなっています。足長は1～2歳半頃までは半年で約1cm、それ以降は半年で約0.5cmのペースで大きくなっていきます。だからといって大き過ぎる靴は禁物です。靴が足に合っていないと、靴の中で足が動いてしまい、歩き方まで悪くなってしまいます。



柔らかい軟骨を優しくサポートすることが大事！

実に人生の4分の1から5分の1の長い期間をかけて、人間の足は完成します。

生まれてすぐの赤ちゃんの足は、まだ配列ができていっただけで、実はやわらかい軟骨状態。成長にしたがって、立つのに必要な部分からカルシウムが蓄積され、骨へと成長していくのです。これを「骨化」と呼びます。歩き始める1歳頃の足根骨は4つで、足根骨が全部そろうのは4歳を過ぎた頃。また、最初はひとつひとつの骨が小さく、離れ離れでできていくので、この頃の子どもの足は非常にもろい状態なのです。

骨化が完全に終了するのは18歳頃になり、実に人生の4分の1から5分の1の長い期間をかけて、人間の足は完成するのです。



10ヶ月 10歳 成人

読書コーナー

いいから いいから 1~4
長谷川 義史 著

ある日のゆうがた、ぼくの家にかみなりのおやこがやってきた
おじいちゃんとは 「いいから いいから」と
やさしくおもてなし でも・・・



こんなおじいちゃんが一家にひとりいたら 日本がいや世界中がしあわせになるにちがいない。
いやなことがあった時 おこりたくなったら 「いいから いいから」とつぶやいてみよう。

こどもだけでなく、おとなが読んでも ところがほっこりする1冊
わたしのおすすめは2のおばけ編です。

(看護師 江口)

お知らせ
生田小児科医長が退職されたため、内容
を変更いたしました。ご了承ください。



地域の事業所の紹介 Part9

株式会社 ケアフェリーチェ
 児童デイサービス チャオ (名古屋市西区)

今回紹介させていただくのは、名古屋市西区にある「児童デイサービス チャオ」です。管理者の近藤さんからお話を伺いました。母体は株式会社ケアフェリーチェで、介護保険施設が3施設、障害分野としては、西区の他に弥富市と稲沢市に日中一時支援の事業所があるそうです。「チャオ」は、平成17年に名古屋市西区で立ち上げ、その後、稲沢市に移転、今年6月に名古屋市西区に戻って来られました。

「チャオ」では、子どもたちに「友達といる楽しさや素晴らしさを知ってほしい」と考えており、まずは「チャオ」へ通うことに慣れるために、できるだけ自由に楽しく遊ぶことを心がけているそうです。そして次の段階として、毎日一つずつ決められた活動にみんなで力を合わせて取り組めるように支援しています。子どもたちの可能性を広げ、将来の自立に少しでも近づいていける様に支援していきたいと考えているとのことでした。



曜日ごとにみんなで楽しめるテーマを決め、様々な活動に取り組まれています。子ども達が最も興味を持ち、参加率の高い活動として、「りょうりきょうしつ」（別途、材料費必要）があります。自分で材料をのせたり、かきまぜたり、焼いたりして、おいしく食べる体験をしています。他にも、綱引きや風船バレーなど身体を動かす「たいりょくかい」や「おんがくかい」、製作を行なう日などもあります。土曜日の午後は「おでかけをしよう」となっており、近くの公園や水族館、科学館に行くこともあります。その他に誕生会や季節の行事なども取り入れているとのことでした。

子どもたちが過ごす場所は、広いワンフロアのスペースになっており、キッチンもありました。その隣に事務所、相談室、個室が一部屋ありました。個室は子どもたちの休息や、パニックを起こした時に落ち着くための部屋として使用されています。天井の照明には、安全のために防護カバーがされており、事務所の窓にもガラス飛散防止シートが貼ってあり、安全に留意されていました。



基本的な営業日は、月曜日～土曜日（祝日、12/31～1/3除く）、サービス提供時間は、平日は14時～17時30分、土曜日・学校休校日は10時30分～16時となっています。

サービスの提供地域は、名古屋市（西区・北区・東区・中村区）、稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市となっています。その他の地域の方の相談にも応じてくださるとのことでした。

送迎は希望に応じて行っており、学校への迎えを希望される方が多いそうです。名古屋市は児童デイサービスの学校への迎えが可能ですが、名古屋市外の方は実費負担という形で学校への迎えを行っています。スクールバス形式で4台の車でっていますが、下校時間が重なることもあり、迎えの時間の調整は難しさがあるようでした。一人でシートに座れない方も、シートチェア等を保護者から預かって送迎しているとのことでした。

利用定員は10名となっており、30名程の方が登録されています。新規の登録も受け付けているそうです。利用は月に1回の方から、毎日利用される方まで様々です。週に3日程利用される方が多いようです。活動計画を見て、活動内容に合わせて希望日を決める方もみえるそうです。保護者の希望通りに利用できるように調整しているとのことでした。

利用の対象は、障がいのある児童（介護給付費支給決定を受けた方）となっており、発達障がい、知的障がい、肢体不自由児等が利用されています。しかし、動きの激しい子と肢体不自由児が、同じペースで過ごすことの難しさを感じているそうです。しかし、肢体不自由児の保護者の中には、「知的障がいの子から刺激を受けることもあるから一緒にいいですよ」と言われる方もみえるとのことでした。また、医療行為を必要とする方の希望もあるようですが、看護師の配置がなく、登録をご遠慮願うこともあるそうです。

ほとんどのお子さんは学齢期の方ですが、幼児さんも希望があれば受け入れているそうです。「午前中に利用したい」というような希望にも柔軟に対応されており、時間外で受け入れることもあるそうです。

また、児童デイサービスでは対応できないようなニーズにも、居宅介護（ホームヘルプ）の事業所を併設しており、児童デイサービスと併せて、居宅介護や移動支援、行動援護など複合的にサービスを提供しているとのことでした。

日々の療育では、手洗い・整理整頓等の日常生活における個別支援に力を入れているようです。スタッフみんなで情報を共有し、子ども達の成長に向けて支援に取り組まれています。時には、スタッフ間だけでなく、保護者や学校の先生とも情報交換し、支援に取り組まれています。保護者からは、水分補給や体温調節など体調面への配慮の希望もあるようです。

今回は2日間に分けて訪問させていただきました。子どもたちは、バランスボールやすべり台で遊んだり、TVを見ていたり、とてもにぎやかで、子どもたちがのびのびと楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした。

近藤さんは温かな表情で「スタッフみんなで検討し、試行錯誤する中で一つでも解決したり、子ども達ができるようになったりした時は本当に嬉しい」「一つずつ解決し頑張っていきたい」と話してくださいました。利用者のニーズに丁寧に前向きに取り組まれていることを感じました。試行錯誤をしながら、スタッフ皆さんで協力し合って取り組まれている印象を受けました。

（療育支援課 堀）

♪お問合せ先♪
児童デイサービス チャオ
電話：052-508-9361

<主な流れ>

☆平日☆	☆土曜日・学校休校日☆
14：00 登所（送迎有）	10：30 登所（送迎有）
自由あそび	自由あそび
15：00 おやつ	12：00 昼食
活動	13：00 活動
17：30 後片付け	15：00 おやつ
帰り支度	自由あそび
18：00 帰宅（送迎有）	15：30 後片付け
	帰り支度
	16：00 帰宅（送迎有）

☆第10回青い鳥夏まつり ボランティアさんの感想☆

青い鳥夏まつりは、毎年80名を越えるたくさんのボランティアさんに支えられています。第10回青い鳥夏まつりには、67名のボランティアさんに参加していただき、1300人以上の来場者を迎えました。

ボランティアさんは、スタッフとして模擬店やイベントのお手伝いをしていただいたり、ボランティア団体の方は、イベントを企画（仮装スタンプラリー・歌やダンスのステージなど）をしていただいたりと、青い鳥夏まつりを盛り上げ、支えてくださっています。第10回夏まつりにボランティアさんの感想や活動の様子を紹介します。

今回は、利用者さんの介助をさせていただきました。お話をしながら回り、私自身、とても楽しませていただきました。介助することは難しかったけれど、いい経験になりました。

外での作業でしたが、たくさんの人とふあうことができ、楽しかったです。とてもいい経験ができました。また参加したいです。

色々な方とふれあうことができ、とてもいい体験になりました。エアトランポリンでは、体力がいりりましたが、みんなが笑顔になってくれて、とてもうれしかったです。

スヌーズレンでは、本当にいい体験ができました。五感を使って、いやしを感じるのが、すごく分かって、光や音や振動は、本当にいいんだなと思いました。

模擬店ジュースコーナー。暑いので、飲料水は売れ行きがよく、補充するのが大変でした。みんなで協力してがんばりました！！

今日は、ひまわり西棟の利用者さんと一緒に夏まつりを見にいったりして、普段よりもたくさんの利用者さんと交流する機会があって、すごく楽しかったです。また、年に1回のこういった開かれたお祭りでのこの辺りの方達との交流も、利用者さんを通してできたりして、本当にこの祭りの大切さが、すごく分かった気がしました。



模擬店みたらしだんごは、暑くて(熱くて)大変です。みたらしだんごは、毎年人気の模擬店で、長蛇の列ができます。1日を終えると、やりきった(焼ききった)達成感があります。

普段と違う子どもたちの表情をみることで、嬉しく思いました。各ブースに子どもがたくさん参加してくれて嬉しかったです。

工作スペースにいました。子どもたちが笑顔でつくってくれて、「ありがとうございました」と言って、帰っていったのがうれしかったです。ありがとうございました。

レンジャーをやらせていただいたのですが、とても楽しかったです。フラックフルトもおいしかったです。





はじめて施設のボランティアに参加させていただいて一緒にふれあって、体験ができてよかったです。エアトランポリンやビンゴで色々な人と話をして、表情や感情を少しずつ理解できるようになって、よかったです。

スーパーボールすくいふうせんつりのスタッフをやらせていただきました。施設の職員の方がとても丁寧に教えていただいたので、やりやすかったです。施設の方々と接することができて、とても勉強になりました。

今回のボランティアはフランクフルトを手伝わせてもらいましたが、とても暑く、熱中症で倒れてしまうのではないかなと思うくらい大変でしたが、来ていた人が、とても楽しそうにしている、こちらもとても楽しくやれました。

仮装スタンプラリー
どろぼうレンジャー参上!!



来年の青い鳥夏まつりには、たくさんのボランティアさんのご参加をお待ちしております♪

入所部門

♪ 重症心身障害児(者)棟「たんぽぽ西棟」 ♪
たんぽぽ西 秋祭り

たんぽぽ西では、青い鳥夏祭りが終わった後に秋祭りが開催されます。今年、どまつりを意識した催しになりました。スタッフによるソーラン節の披露・出店ごっこなど行い、他病棟からも多くの参加者があり、盛況のうちに終わりました。



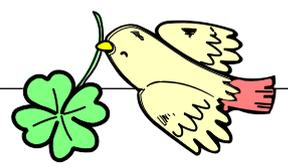
有志スタッフによるソーラン節です。

たこ焼き・焼きそば・綿菓子
その他コールドストーンアイスクリームに摸したフルーチェ屋さんなど多くの出店がありました。



とてもおいしく
いただきました。





外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 歯科(加藤)	小児発達外来(安井) 皮膚科(杉浦) 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2> 眼科(森)	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児発達外来(安井)	整形外科(栗田) 耳鼻科(別府) 児童精神科(早川) <第2・4>	整形外科(栗田) 小児科(安井) 小児科(橋本) <第1・3・5> 小児科(東) <第2・4> 児童精神科(鈴木) <第1・3・5>
	耳鼻科(別府) 児童精神科(野邑) 歯科(伊藤) 外来新患カンファレンス	小児科・染色体外来(山中) <第2・4> 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2>	リハ科(岡川) 小児発達外来(安井) 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 眼科(高井) 歯科(加藤)	児童精神科(早川) <第2・4> 歯科(河合) <毎月1回>	児童精神科(鈴木) <第1・3・5> 小児外科(小児外科医) <第3>

○平成22年10月1日現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください



- 名鉄山線 中小田井駅下車(新名古屋駅から犬山方面普通電車に乗り、4つ目の駅。所要時間9分)徒歩で約3分。
- 地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中小田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左側。
- 橋JCT方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

ホームページもご覧ください
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aitori/>
 *過去の「のびやか」も掲載されています。